

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究
研究責任者	石田 禎夫
研究機関名	日本赤十字社医療センター 血液内科
研究目的と意義	<p>研究の概要: 多発性骨髄腫の患者さんの治療前、治療中、治療後のデータを集めて解析することにより、今後の治療に役立てるための研究です。多発性骨髄腫は難治性の造血器腫瘍で、治癒に至ることはいまだに困難な疾患ですが、近年造血幹細胞移植の進歩やサリドマイド、ボルテゾミブ、レナリドミドなどの新規薬剤の登場により、奏効率の向上とともに予後の著しい改善が報告されています。これまで、前身である日本骨髄腫研究会は1990年から2000年までの骨髄腫患者さんを調査し、合計1380例について臨床所見並びに治療成績について明らかにしました。さらに2001年1月から2012年12月までの2234例を調査し、新規薬剤により治療成績が著しく向上したことを報告しました。その後、わが国においてもさらなる新規薬剤の承認により治療戦略が大きく変貌を遂げていることから、再度調査を行い、各種治療法の有効性を明らかにするとともに、今後の治療戦略の確立を目指すこの研究が立案されました。</p> <p>この研究に参加していただくのは2001年1月1日から2012年12月31日の間に受診し前回調査した登録例および、2013年1月1日から2016年12月31日の間に受診した新規の多発性骨髄腫患者さんです。</p>
研究方法	<p>登録時に様々なデータ(生年月日, 年齢, 性, Performance status, 臨床症状, M蛋白型, 国際病期分類(ISS), 腫瘍形成の有無, 骨病変の程度, 血算, 末梢血形質細胞割合, 骨髄形質細胞割合, 生化学検査, 免疫グロブリン定量値, 血清遊離軽鎖(定量, κ/λ比), 染色体・遺伝子異常, 治療レジメン, 有害事象とグレード, 効果判定, サルベージ治療レジメン, 維持療法, 診断日, 治療開始日, 再発日, 最終生存確認日等)を収集し、各種治療法の有効性を明らかにするとともに、今後の治療戦略の確立を目指します。</p> <p>この研究への参加予定期間: 調査並びに解析期間は2017年7月27日より2018年12月31日までです。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者: 石田 禎夫 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604</p>